



SAIJO

ライオンズクラブ国際協会 336-A地区2R4Z 西条ライオンズクラブ 広報誌

2023-2024

No.

559

1

月号



「星の里」での餅つき交流



ライオンズクラブは社会に奉仕する世界最大の団体です

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 国際会長テーマ | 「 WE SERVE 」 |
| メッセージ | 「 Changing The World 」 |
| 336-A地区スローガン | 「 地球を守る、人を護る 」 |
| ガバナーズスローガン | 「 市民のための社会奉仕 」 |
| キーワード | 「 全員参加の社会奉仕 」 |
| 会長スローガン | 「 やるときゃ、やろうぜ! WE SERVE 」 |
| キーワード | 「 初志貫徹 」 |





新年のご挨拶



西条ライオンズクラブ 63 代目の会長を務めます、日野克則です。
日頃から多大な協力とご理解いただいていることに深く感謝申し上げます。

ライオンズクラブは「 We Serve ～私たちは奉仕する～」という世界共通のスローガンの下 200 を超える国と地域で奉仕する 48,000 のクラブと世界中で 140 万人の会員がいろいろな活動をしております。

2022 年の半ばまでコロナの影響でストップしている事業もやっとコロナ禍を抜け出すことができ、今年度はすべての継続事業を実施、開催しております。

海岸清掃、遍路道清掃、献血事業、施設に出向いて餅つき交流事業、西条市に住む海外の人達との交流事業、国内外の大きな災害への復旧支援金など、7 月からいろいろな活動をしてまいりました。また、今年度私は『会員拡大』を最重要課題と捉え、半期で正会員 3 名の増員が実現しました。

残り半期も会員拡大に向けて一層努めたいと思います。

社会貢献が目的である私たちと一緒に汗を流していただける方、いろんな事業を共にしてみませんか？多くの市民の方々に喜んで頂き笑顔になってもらいませんか。



ご興味のある方、ぜひお声がけください。

西条ライオンズクラブの任期は 1 年任期で私の会長任期は 2024 年 6 月 30 日までです。

残された半年も全力で突っ走ります。

皆さまにおかれましても 2024 年が幸多い一年であることをお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

第2回ゾーンレベル会員委員会 第2回 地区ガバナー諮問委員会 出席報告

会長 日野克則

日時：2023 年 12 月 1 日(金) 受付 18:00～ 会議 18:15～

会場：ターミナルホテル紅葉亭

諮問会議は、各自クラブの事業紹介とメンバーの増員数を確認しました。

リジンチェアパーソンから基本的なライオンズのスタンスは、「奉仕をすることで、奉仕をする為に人を集める。目的を履き違えては行けない。」という様なお話しがありました。

懇親会では、締め言葉の言葉をさせていただき、「完璧な人間なんて居ない。未熟を受け入れたら成長出来る。皆さんと共に成長したい。」といったお話しをさせて頂き、盛会に終わりました。

次回、第3回会議は 2024 年 3 月 8 日(金)に予定されています。



事業内容:餅つき交流
開催日時:2023年12月9日(土) 9:00~11:30
開催場所:星の里
参加人数:18名(メンバー・LL 他)



12月9日、星の里さんでの餅つき奉仕を今年も行うことができました。
施設利用者さん、施設のスタッフの皆さん、クラブメンバーで4臼のおふく餅
を作ることができました。

外では施設利用者さんも一緒になってお餅をつき、中ではお餅に餡子を入れ綺麗に丸めあつという間に
時間が経って無事に終了しました。とても楽しく、充実した餅つき奉仕になりました。
また来年も皆さんと楽しく餅つきができることを願いたいと思います。



「星の里」様より御礼のお便りをいただきました……

今年度も貴会から多数のご参加をいただき盛大に「お餅つき」ができたことに、心から感謝申し上げます。
施設利用者一同、今回の「お餅つき」を大変楽しみにしていたこともあり、皆様の来園を一週間も前から心待ちにしておりました。また、当日は皆様方のご配慮で施設利用者にも餅つきを体験させていただいたことは大変意義深いことであり、思い出づりになったと思います。
ご承知のとおり、当施設は知的障害者が入所して、支援を受けながら生活しているものであり、今回のような事業は一般社会との交流の一つとして大変重要で、効果のあるものと考えております。

当施設としては、今後とも積極的に社会参加を推進し、地域の方々との交流を積み重ねてまいりたいと考えておりますので、以後末永く御支援と交流をよろしくお願い申し上げます。

《追伸》

餅つきや餅を食べている様子につきましては、後日当施設のホームページに掲載したいと思います。

事業内容:クリスマスプレゼント
開催日時:2023年12月20日(水)
実施場所:ゆるぎ荘
サンタクロース:会長、花山 L
松浦 L



【 年賀者 】



| | | |
|-----|-------|--------------------|
| 傘 寿 | 伊藤孝司 | 昭和 20 年 11 月 10 日生 |
| 喜 寿 | 明比昭治 | 昭和 23 年 1 月 19 日生 |
| | 伊藤修一郎 | 昭和 23 年 6 月 30 日生 |
| | 宮崎英明 | 昭和 23 年 9 月 11 日生 |
| 還 暦 | 新田公洋 | 昭和 39 年 5 月 6 日生 |
| | 永易修治 | 昭和 39 年 10 月 26 日生 |

おめでとーぶらいます

傘 寿 を迎えて



L. 伊藤孝司

傘寿を迎え、この節目に立つことで、人生の重みと輝きを感じている。四半世紀以上もの長くも短い歳月を駆け抜け、家族や友人、仕事仲間との絆は深まり、愛おしい思い出として心に残るばかりである。過去の苦難もそれを乗り越える力となり、私を強くもしてきたが、それも多くが色褪せた記憶だ。振り返れば多くの人との出会いと別れがあった。人生の中で得た経験や知識、そして友情。それらは喜びや感謝と共に、時折悲しみや寂しさをもたらすようなもので、八十もの年月を思うと複雑な心境でもある。時代と共に人生も変化し続けるが、自らの経験を活かし、ふるさとのために尽くしたいという気持ちは不変である。

人生は天候のように予測不可能で、嵐に遭遇することもままあるが、傘寿を迎える今、得てきた少しばかりの知恵や勇気を傘のように持ち、道の未来に向かって変わらず全力投球で挑んで参りたい。何よりも家族や友人、そして支えてくれた全ての方々に感謝の気持ちでいっぱいである。これからも心豊かな日々を大切に、笑顔と感謝を忘れず、奉仕と恩返しを強く持ちながら、人生の旅を楽しんでいきたい。

喜 寿 を迎えての新たな決意



L. 明比昭治

還暦を迎えた時、私は親父を還暦で亡くしたので、せめて親父の年は越えたいと思っていたことが、達成できた喜びが一入でした。

私たちの子供の頃の年寄りから受ける印象は、還暦と聞くともう多くが仕事もせずご隠居さんの様子でした。古希や米寿と聞くと数も少なく、肉体労働もせず最も偉く大事な人で、世の中で貢献のあった人だとの印象でした。

今、自分が古希も超え、喜寿を迎える年となりましたが、同級生の2割強位が鬼籍に入られたようですが、まだまだ元気で仕事も現役で頑張っている人も多くいます。

俗に戦後の第1次ベビーブームの「団塊の世代」で時代の変遷の波の中で、何かと社会問題課題の中心におかれる世代ですが、企業戦士として高度成長の中心で頑張った世代です。まだまだこれまでの経験や知識を生かし、皆様の助けをいただきながら『社会の一隅を照らす』ことができるよう、スクラップ扱いされないように頑張りたいと思います。

「傘寿」いや「米寿」まで頑張ります。応援よろしくお願いします。

喜 寿 を迎えて



L. 伊藤修一郎

令和6年度正月を迎えるにあたり、突然の「喜寿」の原稿に驚きました。そういえば各神社からの社報などに昭和23年生まれの人が喜寿を迎える、とあります。

今、高齢化したとはいえ、いろんな人と出会い、教えてもらい、家族や周りの人たちに支えられ生活しています。一日、一日を大切に、そして感謝の心を忘れずこれからも過ごしていきたいと思います。

皆さま、未永くお付き合いくださいますようお願いいたします。そして健康に気をつけてお過ごしください。

本年、人生の節目となる「喜寿」を迎えることになりました。数えて77才、世で言う後期高齢者、なんとなく老いを感じがちですが当の本人はと言えば、古希を迎えた7年前に目標とした生活スタイルを実践し、健康面においてもさほど気にかかる所もなし、毎日を平穩に過ごせています。



これこそが幸せなのだという事でしょうか。

西条ライオンズクラブメンバーとなり30年を超えました。

月2回の例会には出席、委員会活動にも一生懸命取り組んでいる、私のような年の重ね方もなかなか良いものだと思画自賛。時の流れに身をまかせ、気の合う仲間と過ごす時間を大切に、ライオンズでの活動も含めこれからも、私らしく人生を歩んでいきたいと思ひます。

還 暦 を迎えて

L. 新田公洋

新年あけましておめでとうございます。

1964年(昭和39年)生まれの辰年、自分が還暦とは全くピンと来ないのが現実です。仕事もまだまだこれから、少し太ってはいるものの、今のところ健康面も体力面にも気になるところはありません。が、「60歳で干支が一巡し、元の暦に還る」との言葉の通り、もう一度新たな人生のスタートと思ひ、「還暦＝老いた人」ではなく「還暦＝新たな人生」と考へて仕事にプライベートにライオンズ活動にと、これから先も挑戦者としてまだまだ前に、前にと向かっていきたいと思ひます。皆さま、今後とも末永くよろしくお願ひいたします。



還 暦 を迎えて

L. 永易修治

新年明けましておめでとうございます。本年、還暦を迎えることになりました。

思えば早いもので、周囲の反対を押し切りサラリーマンをやめ独立して経営者となったのが、50歳を迎える年でしたのでちょうど10年が経ちました。お客様ゼロの状態に独立し、飛び込み営業からのスタートでした。その時は、もう50歳かと思つたのを覚えています。

でも今は有難いことに「まだ60歳！まだまだ頑張ろう！」と思えるぐらいに心身ともに充実しています。先般、お世話になっているある企業の会長さんにご挨拶にお伺ひしたところ、「会社の代表権も後継者に譲つたので隠居しようと思つたが、よくよく考へたらまだ自分は今年80歳になるところ。人生100年時代ならもう一花咲かせようと思ひ、新会社を設立することにしたのでまたサポートを頼むよ。」と高らかに笑つておられました。素直に素敵な生き方だと思つるとともに、私も元氣をもらいました。一般的には新しい会社の10年存続率は6.3%、20年存続率は0.3%とも言われています。私も次の10年、存続率0.3%に向けて決意を新たに楽しく笑顔で頑張っていこうと思ひますので、今年も宜しくお願ひいたします。



今治中央ライオンズクラブ結成60周年記念式典に参加してきました！ 幹事 植木光夫

開催日時:2023年12月3日(日)

会場:今治国際ホテル

日野会長、明比第2副会長、私の3名で参加してまいりました。周年記念講演がテレビでお馴染みのタレントのさかなクン(日本の魚類学者・東京海洋大学客員教授・イラストレーター)と聞いていたのですが、記念事業は9月にすでに開催されており、市内の小学生200名が参加して、瀬戸内海に生息する魚の特徴や美味しさを学ぶ講演会であったそうで、式典当日のビデオを通してその時の熱気が伝わってくるようでした。懇親会ではチャーターメンバーによる元氣の秘訣である太極拳の演舞や女性メンバーによるジャズバンドの演奏など最後まで大変盛り上がりしました。





西条ライオンズクラブ 会員募集中！

◎ライオンズクラブとは

世界最大の社会奉仕団体のことです。世界で約 200 以上の国または領域にあり 49,000 を超えるクラブが存在し、130 万人以上の会員がいます。あなたも世界の一員になりませんか。

◎西条ライオンズクラブは

国内で 334 番目、愛媛県下では 9 番目のクラブとして結成されました。「We Serve～我々は奉仕する～」を合言葉におなじ志をもつ仲間同士が集まって奉仕活動を行っています。人の為に、社会の為に、一人ではできないことを、出会いを通して集まった会員が力を合わせて、それぞれの地域において社会奉仕に貢献しているという団体です。

西条ライオンズクラブ[56-3980]までお気軽にお問合せください。

◀ 能登半島地震大災害復興支援への対応 ▶

新年早々に能登半島を中心とした日本海側をマグニチュード 7.6 の地震が襲い、今現在もさらに厳しい被害状況が刻々と報告されています。日本時間 1/1 の夜には、早朝のニュースでこのことを知ったシーハン LCIF 理事長から日本の LCIF へ力強い支援メッセージと共に 10 万ドルの大災害復興支援交付金が正式に承認されたことが報告されました。今後は、被災地域のニーズを見極めた支援計画と、ライオンズとしてすべき活動をしてまいります。今時点ではむやみに現地に入ることは控え、支援物資受入場所等が確定し、時期が来た時には支援ができるよう準備をしておきましょう。～日本ライオンズアラート委員会～

編集後記



新年明けましておめでとうございます。令和 6 年(2024 年)は干支の「甲辰」、十二支では「辰」の年にあたります。辰年は想像上の生き物「龍」に例えられています。「力強さ」や「成功」を象徴し、新たな始まりやチャンスとなるそうです。今年が皆様方にとって、龍のごとく飛躍の年となります様、御祈念申し上げます。

MC・広報委員長 山本新一郎

[シリーズ 会員短信]

～私の旅～

L.松本敏秀
昔話になります。妻の旅好きもあって、社会人になってから 30 代半ばくらいまでは、プライベートでほぼ毎年海外旅行に行っていました。行先は、安価であること、「地球の歩き方」など片手に現地で何とかコミュニケーションを取りながら観たいところを訪ねるのは体力的に若いうちでないとやれないだろう！ということで、欧米より新興国に行くことが多かったのですが、アジア通貨危機直後だったものの街人も本当に活気がありました。観光地も行きましたが記憶に残っているのは、例えば次のような話ばかりです。

タイ

- ・タクシーに乗り、行先を伝えたら“分かった”と運転手が答え、全然違うところに着いた
- ・チャオプラヤ川の観光船ツアーに参加申込みしたが、当日ガイドが寝坊して 1 時間以上遅れて集合場所に来た

中国

- ・蘇州に行った際、現地で適当にガイドを捉まえて自転車ツアーに参加。食事では、ガイドもレストランに同席して一緒に食事！？(ガイドは食事中は別に待機しているとの思い込みがありました)

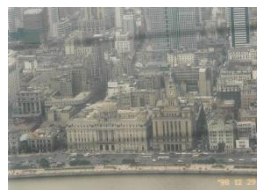
四半世紀前の話で今はこんな事はないのですが、当時のアジア圏の国は、今よりもっと雑然(混沌?)としていて、このような想定外のことも多く、たくさんの刺激を受けました。そして何より、子供の頃、海外というのはTVドラマや映画の世界のもので、自分が行くことはないと思っていたので、このような地に自分が居るのが、当時は本当に不思議な感じでした。まとまった時間がとれるようになれば、また行きたいと思っていますが、いつのことになるでしょう…



[中国] 蘇州にて



[タイ] 乗り遅れた観光船(と同じ船)、後から細長い小さいボートで追いかけた



[中国] 上海外灘地域、上海テレビ塔より

発行者 会長 日野克則
幹事 植木光夫
[MC・広報委員会]
委員長/副委員長 山本新一郎/曾我部克正
編集委員 村上公明・日野 求・松本敏秀
例会日 毎月 第1・第3火曜日 (12:30~13:30)
例会場 西条商工会館
発行 西条ライオンズクラブ事務局
印刷 プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ

〒793-0027 愛媛県西条市朔日市779-8
西条商工会館1F
TEL(0897)56-3980
FAX(0897)56-9251
E-mail saijo-ic@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ http://saijo-lions.jp
facebook http://facebook.com/saijo.lions/